

地域活性化に取り組む上での課題と方向（岡山県拠点事例）

取組内容

課題

社地域振興協議会 （真庭市）

取組概要（社地域）.pdf

社の式内八社などの史跡や歴史などを
地域住民によって保存・継承

- 「おかやま元気！集落」に登録
- 棚田を活用した田植え、稲刈り、モチつき体験
- しめ飾り・モチの製造、販売
- 中世式内八社ガイド、史跡めぐり
- 地域外から大学生や社会人の神輿担ぎや巫女さんを確保

梶並地区活性化推進委員会 （美作市）

取組概要（梶並地区）.pdf

自らの地域は、
自らの手で守り、育て、築き上げる

- 「おかやま元気！集落」に登録
- 刺身こんにやく・そば粉の製造、販売
- 桜まつり、梶の葉の七夕まつり
- お試し住宅、空き家管理
- 広報紙「かじかつだより」を地区の全戸に配布
- 地域おこし協力隊（外部から人材を求める）

大茅地区活性化協議会 （西栗倉村）

取組概要（大茅地区）.pdf

花と文化の心ゆたかなふるさとづくり

- 「おかやま元気！集落」に登録
- 芝桜、山アジサイ（公園を有料解放）
- 水田等を活用した農業体験
- 学生等と連携した古文書の翻訳、漫画化、動画作成
- 関係機関と連携しSNS等を活用した情報発信

- 定年延長により、後継者が育たない
- 関係人口を増やす活動
- 活動への地元担い手参加
- 引き取り手がない耕作放棄地の増加

- 空家管理ビジネスで雇用創生
- 地域特産品のビジネス化
- 会員の増員と後継者づくり
- 活動へのモチベーション継続と楽しさの持続
- 地域おこし協力隊の永住

- 地区内での取組の輪を広げること
- 維持管理を総括的に出来る後継者の育成
- 菓子製造を行う調理場を新設したいが資金がない

1 会員の減少・後継者不足

地域内外からの参加（イベント等）

地域おこし協力隊

雇用の創出

2 耕作放棄地の増加

農地集約・拡大、効率化

スマート農業など

3 活動資金の確保

補助事業の活用

新商品開発・販路拡大（農産物等）

情報の発信（SNSなど）